

令和4年度 呉市公共事業評価委員会（書面審議）議事録

1. 日 時 令和4年9月5日（月）～令和4年10月3日（月）
2. 場 所 書面審議
3. 審議委員 小倉委員，親谷委員，寺田委員，塚井委員，松本委員，柳曾委員
(50音順)
4. 議 題 地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業
【公共下水道及び漁業集落排水施設の整備の一体的な推進】
の事後評価について
5. 担当部署 上下水道局技術部下水建設課
6. 事務局 都市部技術監理室技術推進グループ TEL 0823-25-3412
7. 審議内容

委員	担当部署
<p>○目標には、「産業や消費を支える若い世代をターゲットとした定住・移住の促進」と記載されている。この目標に基づくと、指標1のうち、何件が若い世代に該当するのかということになり、評価基準が異なってくるので、目標に「主として」等の文言を追加するか、事後評価調書の指標1の評価欄にカッコ書きで、内○件が若い世代というのを追記する必要がある。</p>	<p>○目標を達成させるための事業である「呉市子育て支援事業」及び「呉市移住希望者支援事業」とも、対象者の年齢制限を設けてはならず、ここでいう「若い世代」とは、事業のイメージを連想させる意味での象徴的な表現であり、本来的には、どのような世代の方が定住・移住してこられても事業の成果があったと判断されるものです。</p> <p>ご意見にありますように、目標には「主として」の文言を追加することといたします。</p>
<p>○事業の実施状況に関する客観的な指標に「汚水処理人口普及率2.8%の向上」と記載がある。%の差分は%表示すると紛らわしいのでポイント表示するべきではないか。</p>	<p>○ご指摘のとおりポイント表示に修正いたします。</p>
<p>○地域再生計画に記載した数値目標の10件に対し29件と目標を大きく上回っているが、増加したのはすべてが今回の事業によるものなのか。</p>	<p>○定住・移住人口の増加については、本事業の波及的な効果のみならず、町おこしやマスメディアによる魅力の発信等、他の諸々の要因が複合的に影響しているものと思われれます。</p>

<p>○地域再生計画記載した数値目標の実現において、商業施設等の増加は、本事業による効果なのか。また、10件の目標に対して、5件で一定の効果としてよいのか。</p>	<p>○商業施設等の増加についても、本事業のみならず、上記の定住・移住人口の増加と同様に他の諸々の要因が複合的に影響しているものと思われますので、事業の成果としては一定の効果を上げることができたと判断いたしました。</p>
<p>○漁業集落排水施設の事業進捗状況に要望調査や空き家調査等で必要な部分が4055mであり、整備されたのが4055mならば、概ねではなく100%でもよいのではないか。</p>	<p>○ご意見にありますように、計画期間中における必要な部分はすべて整備できましたので、事業評価調書には100%と表記いたします。</p>
<p>○地域再生計画に記載した定住・移住人口の増加について、「目標値を大きく上回り達成することができた」との記載があるが、定住・移住者の年代や定住・移住に至った動機は何か。</p>	<p>○定住・移住人口の増加の年代別内訳は、29件のうち、「呉市子育て支援事業」によるものが12件であり、30代をメインに20代から40代の方がおられ、「呉市移住支援者支援事業」によるものが17件であり、40代から60代の方がおられました。</p> <p>定住・移住に至った動機は、諸々の要因があると思われますが、一つの要因としては、音戸町・倉橋町には手頃な空き家等の好物件が多かったのではないかと思います。</p>
<p>○地域再生計画に記載した商業施設等の増加による目標値を下回る結果となっているが、その要因であると思われるものは何か。</p>	<p>○目標を下回った要因は、諸々の社会経済情勢が複合的に関連しているものと思われます。その中の一つには平成30年の豪雨災害禍があると思われます（実際に5件の新規出店者のうち、閉店された1件については豪雨災害からの復興を断念されたとのことです）。</p>
<p>○【指標1】の商業施設等の増加による目標値について、令和2年度10件のところ、実績値は5件であったが、コロナ禍であったこと、住宅の取得に比べて商業施設の出店のハードルが高いことを考えれば、目標が高すぎただけであり、一定の成果が上がっていることを評価すべきと考える。</p>	<p>○ご意見にありますように、一定の成果を上げることができたと評価させていただきたいと思います。</p>

<p>○地域再生計画に記載した定住・移住人口の増加の目標値について、R2年度10件のところ、目標の約3倍の29件の実績を上げており、非常に効果が高かったと言える。人口減は呉市の将来を考えた際に最も深刻な問題の一つであるため、この事業は高く評価されるべきと考える。予算の都合上、可能であれば、本助成事業の継続が期待される。継続はできそうか？</p>	<p>○本助成事業である「呉市子育て支援事業」及び「呉市移住希望者支援事業」とともに、住宅政策課において事業継続中です。</p>
<p>○漁業集落排水施設の整備延長は計画の約8割であったが、要望調査を行ったうえ、整備が必要なところに整備が出来たということで、評価できると考える。</p>	<p>○ご意見にありますように、計画期間中における必要な部分はすべて整備できたと評価させていただきたいと思います。</p>
<p>○事業の進捗状況の中の海浜清掃活動について、コロナ禍で活動が中断していることは致し方ないことだと考える。活動が中断している間に、令和4年4月にプラスチック資源循環促進法も施行され、海洋プラスチックごみ問題への社会の関心が高まっているので、再開後の活動の在り方について一度整理する良い機会ではないか。これまで参加していなかった、問題に関心のなかった市民へ、動画なども用いながら情報を発信することも検討してみてもどうか。</p>	<p>○令和4年9月21日の地方新聞の記事には、9月25日に呉青年会議所主催で倉橋町桂浜海岸及び桂浜温泉において、プラスチックによる環境汚染問題をテーマに映画鑑賞や海岸清掃、ワークショップを組み合わせたイベントを催すとの記事がありました。今後はこのような取り組みを参考にし、海洋プラスチックごみ問題においては、呉市全体の問題であり、関連する各部署において横断的に検討して参ります。</p>
<p>○商業施設等の増加は、本事業の波及的な効果として期待されることではあるが、出店等の決定は他の複雑な要因も大きく影響するので、定量的に目標値を下回ったとしても、必ずしも事業の達成度が低いということにはならず、事後評価調書にあるように、一定の成果を上げていると思われる。但し、5件の商業施設等の規模や地域貢献度等の定性的な評価については、内部資料として保存しておくことが望ましい。</p>	<p>○ご意見にありますとおり、一定の成果を上げることができたとさせていただきます。</p> <p>○5件の内訳は H28：5 COFFEEMARKET、ゲストハウスおむすびい（閉店） H29：海のAJITO 須ノ浦ストーンフィールド H30：天仁庵ディミニッシュ R2：月の森花店</p> <p>であり、唯一閉店した店舗を除いて、いずれも地域のにぎわいや外部からの客を呼び込むことに成功しているとのこと。</p>

<p>○地域再生計画の数値目標の【指標1】【指標2】について、中間目標値及び最終目標値は、どのような根拠に基づいて設定されたのか。</p> <p>また、【指標2】について、目標値が地域の実情からみて適切であったかどうか検討されたのか。</p>	<p>○地域版総合戦略である呉市の総合戦略において、市全体の目標値を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の住宅取得件数 H28～H31：200件 ・移住希望者の住宅取得件数 H28～H31：80件 ・新規出店件数・島嶼部における新サービス実施件数 H27～H31：80件 <p>と定めております。</p> <p>その中で音戸町・倉橋町において、指標1については、1年あたり2件の新規住宅取得を見込み、また、指標2については1年あたり2件の新規事業出店等を見込んで、それぞれ中間値6件（平成30年度）、最終目標値10件（令和2年度）と目標を設定しました。</p> <p>○指標2について、計画を策定した平成28年度時点においては適切な目標設定であると認識しておりました。</p>
<p>○事業の進捗状況の中の「島のにぎわい拠点公募事業」について、「想定していた目標に達していない」という評価に関して、その原因は何だったのか。また、今後、どのような具体策を講じる予定なのか。</p>	<p>○目標に達しなかった原因は、諸々の社会経済情勢が複合的に関連し、本市の想定した数値と開きが生じたと思われませんが、一つには平成30年の豪雨災害禍があると思われ（実際に5件の新規出店者のうち、閉店された1件については豪雨災害からの復興を断念されたとのことです）。</p> <p>なお、音戸町・倉橋町における汚水処理施設整備事業は、地域再生計画終了後も他の事業により引き続き行い、快適で住みよいまちづくりに寄与したいと考えております。</p>